

平成29年度北海道・東北ブロック会議結果報告

報告者：青森県支部長 佐藤晋也 氏（昭和52農）

日 時：平成29年10月21日（土）

場 所：青森市（ラ・プラス青い森）

出席者：校友会本部 外園 惺副会長

6道県支部12名 計13名（山形県支部欠席、意見を記載した文書を代読）

I 会議次第

1. 開 会
2. 挨 拶 青森県支部長 佐藤晋也 氏
3. 来賓挨拶 校友会副会長 外園 惺 氏
4. 議 事
 - (1) 校友会本部並びに大学の近況について
 - (2) 各都道府県活動の近況、情報交換について
 - (3) 校友会、大学への要望・提案事項について
 - (4) その他
5. 閉 会

II 北海道・東北ブロック会議の経過概要

1. 開催支部の佐藤支部長並びに来賓の校友会外園副会長より挨拶。
2. 出席者の紹介の後、佐藤支部長の司会で議事を進行。（山形県支部長・幹事長の両名が欠席したため提出された文書代読の承諾をいただく。）
3. 校友会外園副会長より、校友会の活動状況及び大学の近況について説明があり、特に世田谷キャンパス建屋の様変わりについて、熊本地震への義援金寄贈及び地域後継者推薦における選抜方法の変更について詳細に説明があった。
4. 続いて、各道県支部長より支部活動についてと校友会並びに大学への要望・提案事項が報告された。
5. 各道県支部からの報告を受け、校友会並びに大学への要望・提案事項について協議・検討した。
6. 時期当番県支部は宮城県であることを確認した。

Ⅲ 各支部から要望・提案のあった事項

〈幹事支部で要約〉

1. 支部活動に関すること

- (1) 各支部とも、組織力の強化を図り活動を活性化しようと努力している。そのためには、今以上に地域における人間関係の構築が重要だと考えており、新しい試みとして新入生、在校生、新たな卒業生等の情報提供をお願いしたい。目的は、在学中に校友会支部総会等に出席してもらい、校友会支部を認知してもらうこと、加えて、新しい風を吹き込むことを考えている。
- (2) 在学中に校友会活動について知る機会が少なく、地元に戻って道県に支部があって活動を知ることになるようだ。このことについて時代だからといって終わらせるのではなく、大学の精神を説き、例えば、新入生のオリエンテーション、就職活動前のオリエンテーション等を通して出身地と母校に対する思いを形にする在り方を指導していただきたい。
- (3) 支部組織では農大の今を取込むために大学の名前入りグッズの効果が高く評価されている。そこで、「農大グッズ」をまとめた冊子（通販カタログのような）もしくはネット販売できるようなサービスの提供をお願いしたい。

2. 地域後継者推薦に関すること

- (1) 地域後継者推薦制度に関して目的・趣旨から在り方を再度検討すべきではないかという声があった。その一つが地域貢献の在り方についての指導である。
この制度で入学した学生を対象に地域課題等について指導を行い、彼らに地域後継者推薦制度の趣旨並びに地域貢献の在り方について指導をお願いしたい。
- (2) 小論文を課したことの意味について、大学が校友会支部を信用していないのではと勘繰る向きもあることから、しばらくは丁寧な説明が必要であると思われる。

3. スポーツ（特に箱根駅伝）に関すること

第90回箱根駅伝出場から今回を含み4回の機会を逃している。今年も箱根駅伝出場の夢が消えたことで、校友からは駅伝強化に関する大学の姿勢を問う意見が多い。駅伝をはじめスポーツ強化は大学PRに有効であることは周知のとおりである。今後、今以上に全国の高校と太いパイプ構築し有望選手の発掘・確保に努めるべき等の意見が出された。

IV 全国支部長会議に提出する重点要望・提案事項について

〈大学への要望〉

1. 農大の地域連携について

東京農大がひと・もの・ことを繋げ地域活性に貢献していることを知り、校友会支部として非常に誇れる取組であると考えている。手続は、求める側と応じる側が調印すればそれでよしとなるが、対象となる道県では校友会支部があり活動している。詳細までは求めないが、文書で「〇〇道県との地域連携について」と支部に一報いただくことで、校友に周知し協力依頼が可能になる。是非とも、支部長宛にお知らせいただくことをお願いする。

2. 地域後継者推薦と入学希望生徒の確保について

地域後継者推薦入試制度は、より優秀な生徒を一人でも多く確保するという点で本ブロックでは理解されている。

ただ地方に居ると、少子化問題は地域農業や生活者の問題として身近で、数年後には私立大学が淘汰される時代になると地方大学の関係者から耳にすることが多くなった。本ブロックが危惧していることは、入学希望生徒のニーズと親のニーズのミスマッチで、簡潔に言えば、農大で学び地域に還る指導の在り方についてである。

このことは地域後継者推薦制度を中止するというのではなく、校友会支部、全国教職員の会等と深く連携し、それぞれのニーズに真摯に向き合い、「納得」をキーワードに「人物を畑に還す」ための積極的な指導をお願いする。

3. スポーツの強化について

母校の活躍には校友の誰もが大きな期待を寄せており、スポーツ振興基金をはじめ各地で行われている合宿や各種大会などに惜しみない支援活動を展開してきた。

特に、箱根駅伝については、これまで新年早々から大きな勇気をもらい、校友は箱根の伝統校としてプライドを培ってきた歴史がある。

しかし、近年、系列高等学校の有望選手でさえ他大学に進学するという事態に非常に残念に思っている。ついては、校友の期待と支援に応えるためにも、系列高も含めて大学・校友が一体となり、有望選手の獲得とスポーツ強化について、より一層努力いただくことをお願いする。

◆別紙-年会費の徴収について

支部名	徴収（している○・していない×）
北海道	○：資料に記載なし。口頭で説明。はがきで通知する。年会費 3000 円で郵貯銀行に振り込む方式。
青森県	×
秋田県	×
岩手県	○：はがきで通知する。年会費 2000 円で銀行振り込み。
山形県	×
福島県	×
宮城県	○：資料に記載なし。口頭で説明。はがきで通知する。年会費 2000 円で銀行振り込み。